

水産物の市況について(平成30年11月及び12月)

—東京都中央卸売市場における平成30年11月(平成30年10月21日～平成30年11月20日集計)の市況と、平成30年12月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成30年11月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は前月並で、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は前月と比べやや強含みに推移しました。

II 平成30年12月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は、盛漁期を過ぎたことから更に減少すると見込まれ、卸売価格は、強含むと見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は、国内の水揚げ・輸入が少ないことから11月並みの低水準と見込まれ、卸売価格は、やや強含むと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は、盛漁期に入ることから水揚げの増加が見込まれ、卸売価格は、やや弱含むと見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は、生鮮品が漁期終盤で更に減少、冷凍品が生鮮品の不足分を補うために11月並みに横ばいと見込まれ、卸売価格は、生鮮が不漁を反映し強含み、冷凍が横ばいと見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は、水温の低下でやや減少すると見込まれ、卸売価格は、やや強含むと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は、全体的に増加すると見込まれますが、年末の最需要期を迎えることから、卸売価格は、横ばいからやや強含むと見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

入荷量は、終漁間近で減少すると見込まれますが、新物がなくなって解凍物に切り替わるため、卸売価格は、やや弱含むと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	11月		前月		前々月	
	入荷量	卸売価格	入荷量	卸売価格	入荷量	卸売価格
30年	34	1,116	34	1,063	39	1,101
前年	35	1,136	36	1,055	38	1,095

注1: 入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

注2: 入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	11月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	439	141	130	90
さけ・ます(平均)	1,203	110	115	134
(ぎんざけ塩蔵品)	1,113	105	109	125
(あきさけ塩蔵品)	974	113	95	125
(ときさけ塩蔵品)	1,387	103	110	133
(べにざけ塩蔵品)	1,520	99	117	129
(さけ類冷凍品)	1,182	112	119	137
さば(生鮮品)	587	99	122	124
するめいか(平均)	901	107	105	177
(生鮮品)	919	115	116	167
(冷凍品)	781	111	92	155
あじ(生鮮品)	467	76	94	90
まぐろ(冷凍品)	1,555	97	90	104
(めばち冷凍品)	1,216	100	92	108
(きはだ冷凍品)	879	94	77	86
(くろまぐろ冷凍品)	3,383	102	102	92
(みなみまぐろ冷凍品)	2,085	107	99	103
さんま(生鮮品)	371	80	68	94

注1: 品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2: 11月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは平成25年~29年の加重平均値。

注3: さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4: さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5: まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先: 水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6613 北川、岩佐

直通 03-3502-4190